2 チャンネルドライブレーコーダー
取扱説明書

期日：2011/10/19　バージョン：06

※※ 必ずお読み下さい ※※

「本製品はカメラ 2 台を取り付けて画像を取得することが出来る自動車と二輪車用のドライブレコーダーです。車用のドライブレコーダーは交通事故を客観的に自動画像記録することを目的とした車載用画像記録装置ですが、二輪車用ドライブレコーダー「ニリドラ」は、バイク仲間とのツーリングや趣味のサーキット走行での映像を自由に簡易録画して楽しむことを目的としています。またその一方で、既存のドライブレコーダーと同様、万が一の交通事故を客観的に自動録画することも可能です。（全ての交通事故の記録が出来る事を保証した商品ではありません。万が一、映像が記録されなかった場合や、記録したデータが破損した場合などについては、弊社は一切責任を負いませんのでご了承ください。）

以下のケースで映像記録が出来ないことがあります。

- ◆ ニリドラ本体に電源が入っていなかった場合
- ◆ ニリドラ本体に CF カードがしっかり挿入されていなかった場合
- ◆ 付属のカメラモジュールが正しく取り付けられていなかった場合
- ◆ 大きな事故で、本体が破壊された場合
- ◆ 記録中に CF カードが抜けてしまった場合
- ◆ 本取扱説明書記載の通り正しく設置されていなかった場合
- ◆ カメラ本体及びケーブル等が強い圧迫を受けている場合（特にシート等での圧迫）

※※ 安全のために必ずお守り下さい ※※

ご使用前に、この「安全のために必ずお守りください」を良く読んで正しくお使い下さい。ここに示した注意事項は、製品を安全にお使いいただき、お客様や他の方々への危害や損害を未然に防止するためのものです。
本文中の「本製品」とは、「本体」および「カメラモジュール」をさします。「本体」とはニリドラ本体および電源コードをさし、「カメラモジュール」とはカメラモジュールおよび信号ケーブルをさします。

⚠ 危 険	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負うなどの危険の発生が想定される内容を示しています。
⚠ 警 告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注 意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

⚠ 危 険

- 車輌停止状態下また使用することが必要の場合は、使用の環境空間を注意してください。車輌から排気ガスが車内に侵入し、一酸化炭素中毒の恐れがあります。車庫や室内など換気悪いところでエンジンをかけたままにしないで下さい。
- お子様の手の届かないところに保管して下さい。お子様が誤って本製品を破損すると危険です。また、コードを首に巻きつけると窒息することがあります。
- DC12V～24V 以外の電源を使用しないで下さい。火災・感電の原因となります。

- 本製品に水などを入れたり、濡らしたりしないで下さい。本体には防水処理が施されていません。防水加工をしているのは「カメラモジュール」部のみとなっております。しかし自動車用のカメラのモジュールは防水処理が施されていません。
- 本製品に火を近づけたり、火の中に投げ込んだりしないで下さい。火災・ケガの原因となります。
- 本製品は所定の適当な位置に正しく取り付けた上で使用して下さい。誤った取り付けをされると製品が正しく作動しないだけではなく、運転の支障もしくは、運転中に製品が落下する可能性があります。
- 本製品を落下させたり強い衝撃を与えたりしないで下さい。故障や火災の原因となることがあります。

⚠ 警　告

- 本製品を分解、改造しないで下さい。本製品の破損もしくは、感電する原因となります。点検・修理は購入店、または弊社にご依頼下さい。
- 煙が出ている、焦げ臭いなどの異常状態のまま使用しないで下さい。火災、感電の原因となります。すぐに本体を取り外し、購入店または弊社へご連絡下さい。
- お手入れのときは、アルコール・ベンジン・シンナーなどの引火性溶剤は使用しないで下さい。火災の原因となります。
- ケーブルを傷つけたり破損したりしないで下さい。また、配線はケーブルに負担がかからないように配線して下さい。本体の破損、漏電、火災等の原因となります。
- 濡れた手で配線しないで下さい。感電の原因となります。
- キーホルダーなどの金属類で配線の「＋極」或いは「－極」を接触（ショート）させないで下さい。発熱し、やけど・ケガの原因となります。
- 実際の交通規制に従って運転して下さい。必ず道路標識など実際の規制に従って運転して下さい。故意に交通事故を招くような運転は決して行わないで下さい。
- 運転者は走行中に本製品の調節などを行わないで下さい。前方不注意となり交通事故の原因となります。
- 走行中に本製品が落下などしないよう取り付けて下さい。万が一に備えて、配線留具でケーブルを固定するなどして下さい。

⚠ 注　意

- 本製品もしくは、電源ケーブルが他の機器に影響を及ぼすことがあります。
- 本製品に異物を入れないで下さい。部品のショートなどにより火災の原因となることがあります。
- 体の電源をバッテリーと直接続の場合は、エンジンを稼動していない状態での長時間使用は、バッテリーが消耗し、エンジンがかからなくなることがあります。
- 極端に高温・低温になる場所に放置しないで下さい。長時間日光のあたる場所や極端に低温な場所に放置すると、変形・故障の原因となることがあります。
- 本製品を取り外すときは、必ず電源を切ってから取り外して下さい。電源が入ったまま取り外すと、故障の原因となります
- 汚れた CF カードは使用しないで下さい。砂やほこり、水などの液体をかぶった CF カードを使用すると、故障の原因となります。

- 電源ケーブルが運転者の視界や運転の妨げとならないように整理して下さい。
- 本体、もしくは電源ケーブルが車両の金属部でこすれたり、可動部（シートレールなど）に挟み込まれたりしないように注意して下さい。故障の原因となります。
- 電磁波影響されないように下記の通りでコアを取り付けてください。

- CF カードは消耗品となります。一年を目処に交換をしてください。

目　次

※※ 本製品使用上の注意事項【必ずお読みください】 ※※

- CF カードを取り出す際には本製品の電源が切れていることを確認（電源 LED が完全消灯）してから CF カードを取り出して下さい。怠った場合、データが破損するだけでなく、故障の原因となる可能性があります。
- CF カードは指定した方向へ正しく入れて下さい。無理に誤った方向に入れた場合、CF カードや CF カードスロットが破損し、故障の原因となります。
- CF カード差込スロットへ、CF カード以外のものを入れないで下さい。故障の原因となります。
- 電源が ON になると約 30 秒後に、画像データ保存が始まります。
- 内蔵時計（RTC）の電源は充電式のため、三十日間以上放置されると、RTC は初期設定の時刻”2000/01/01 0:00”にリセットされます。
- 本製品は MPEG4 の形式で連続記録を行います。カメラ 2 台の画像は同一のファイルに記録されます。 CF カード容量が一杯になった場合は、古いデータから順次上書きします。
- 本製品は CF カードの寿命を考慮した上、CF カード最大容量の約 90%を使って記録するようになっています。
- 本製品は電源 OFF 後（エンジンオフあるいは大きな衝撃による電源ケーブル切断など）に因らず、電源 OFF 後、3秒間安全な停止処理（バックアップ機能による電源 OFF 後 3 秒間の記録データ保存）を行います。バックアップ機能が働いている間は CF カードの取り出しを行わないでください。
- CF カード内の画像データのファイル名を変更しないでください。また、CF カード内に本製品のデータ以外を保存しないでください。記録時間が短くなり、動作不良の原因となります。
- 本製品は車両の ACC 電源に接続することで給電されます。本製品を取り付ける車両の ACC 電源が、エンジンキーオフでオフになることを確認してください。エンジンキーオフでも電源がオフにならない車両は、バッテリー上がりの恐れがあります。
- 配線時にケーブルを強く圧迫すると内部断線することがあります。配線ケーブル等に強い圧迫、ストレス、もしくは引っ張り等がかからないように配線して下さい。こうした理由での故障、もしくは不具合は有償なりますのでご注意ください。

製品の特徴

本体は二輪車または自動車に付けるドライブレコーダーです。前方もしくは後方の状況を記録します。万一の事故が発生してしまったときは、この記録データを警察や保険会社、事故鑑識専門業者に提示して、責任判定の参考資料にご利用下さい。正しく取り付けをして頂き、正しく使って頂ければ、各データが自動録画されます。

- 容量8Gの CF カードをお使いになる場合、自動車で約8～9時間連続録画できます。最大 32GB 容量まで対応可能です（約32時間の録画時間）実際保存の録画時間は使用される環境によって異なります。（例：容量8GのCFカードをお使いになる場合、二輪車で約6～7時間。）

※ ご利用頂けない CF カードもございます。商品の中に付く CF カードを使ってください。

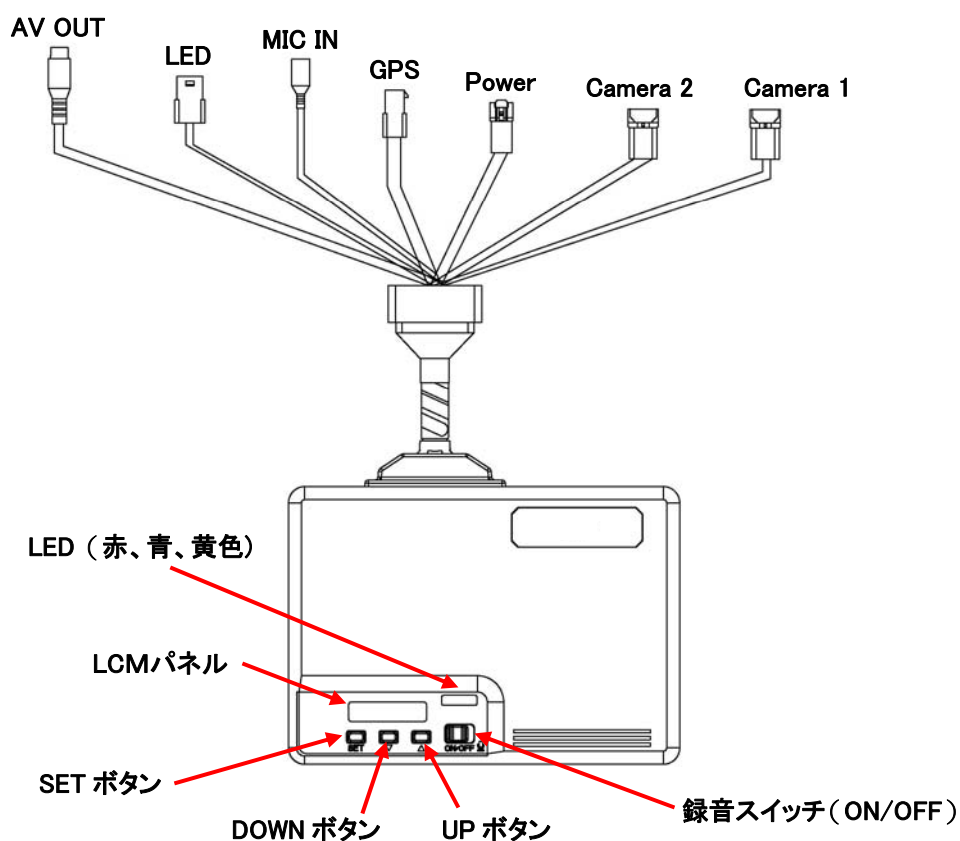
- バックアップ電源付き、電源中断後3秒間継続録画できます。
- AV　OUT
- 即時映像と音を循環録画できます
- 日時、GPS，Gーセンサーなど資料記録

- 広角カメラレンズ
- ファームウェアー及び周辺装置の検知データ
- CF Card の中 CEO Player 映像再生ソフトを付く

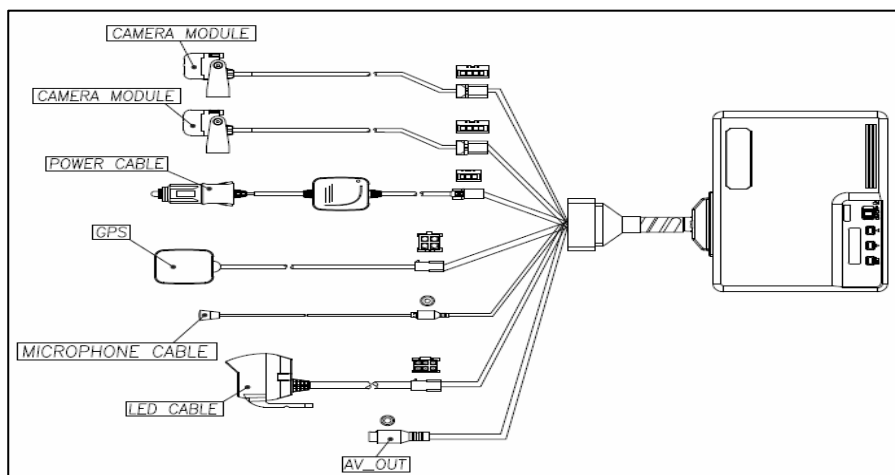
梱包内容

1. ドライブレコーダー本体 1 台	2. カメラモジュール 2 台 （二輪車或は自動車によって選択できます）	3. CF カード 1 枚 （再生ソフト付き）
4. コネクター防塵カバー1 個	5.電源ケーブル 1 本（自動車専用）	6. カメラモジュール留金具 2 式
7. 電源ケーブル固定用ストッパー 8 個	8. 電源ケーブル固定用両面テープ 1 枚	9. 本体固定用両面テープ 1 枚
10. カメラモジュール留金具固定用 両面テープ 2 枚	11. GPS 1 台（オプション）	12. マイクフォン 1 個 （オプション）

13. 電源スイッチ ケーブル1個 （二輪車専用）	14電源ケーブル1 個（二輪車専用 オプション）	15. LED 信号表示器 1 個 （オプション）

本体各部名称

取付方法

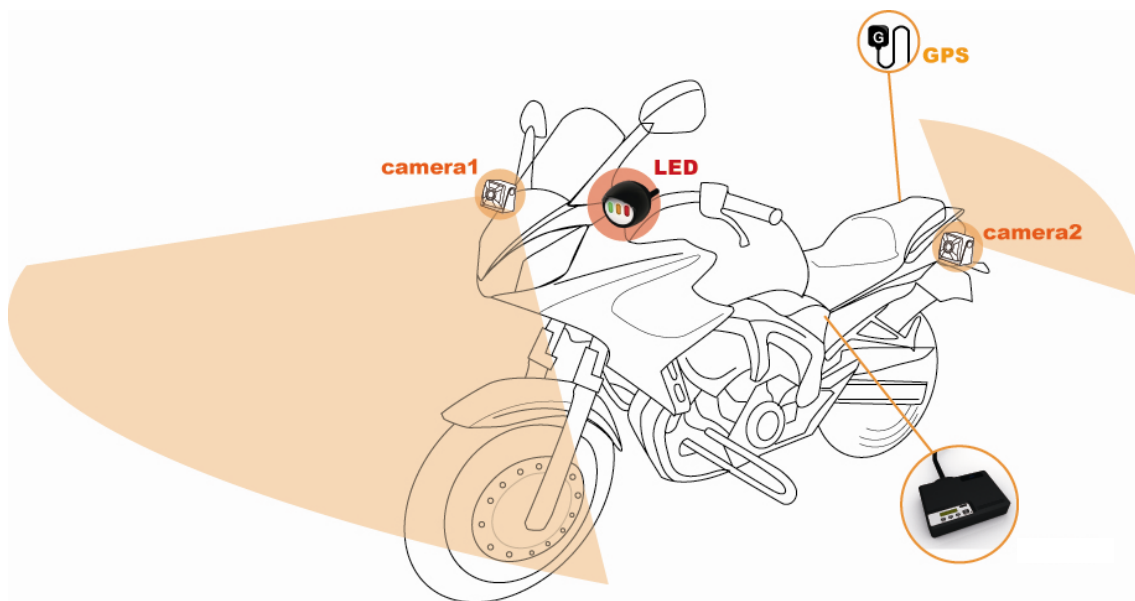
下表に記載された順序に従い、各オプションのコネクター側を防塵カバーに挿入し、取付けてください。（オプションがない場合はスキップしてください。）コネクター側を挿入してから、カメラモジュール、GPS、電源ケーブル、マイクフォン（オプション）、LED 信号表示器（オプション）のコネクターを本体のケーブルにあるコネクターに接続してください。（各コネクターの形は違うため、形の一致するコネクターに接続するようご注意ください。誤配線での故障については一切保証されません。）

1	2	3	4	5	6	7
AV IN	MIC	LED 信号表示器	GPS	カメラ 1	カメラ 2	電源

本体の取付け

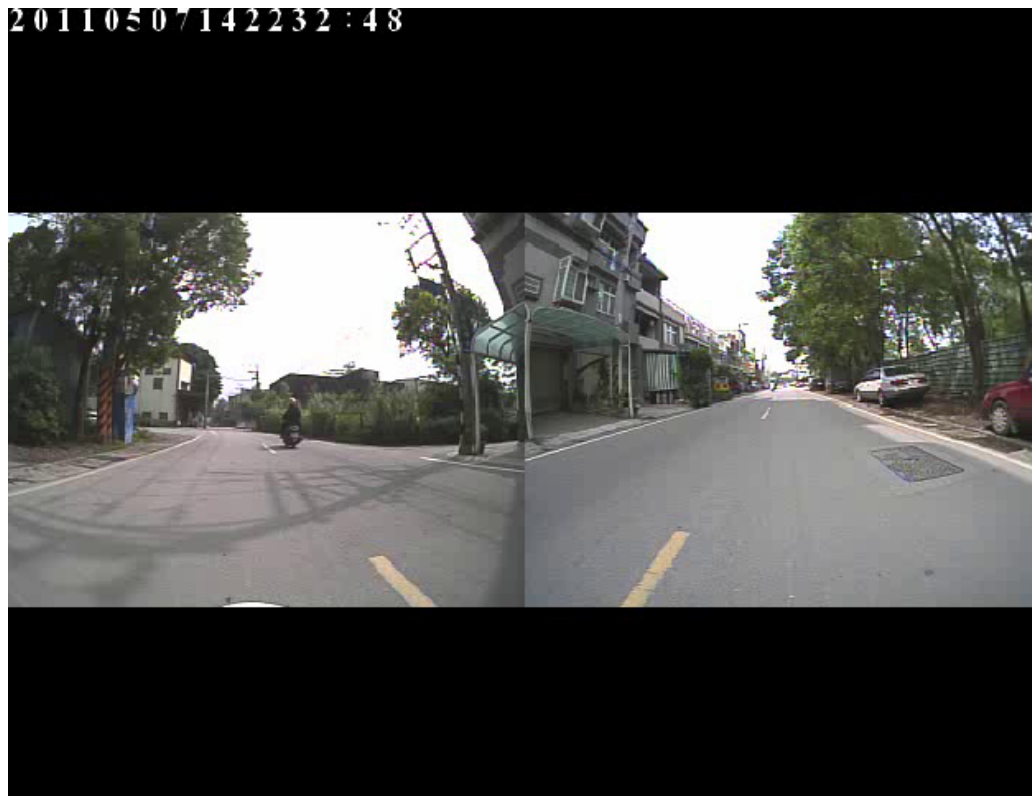
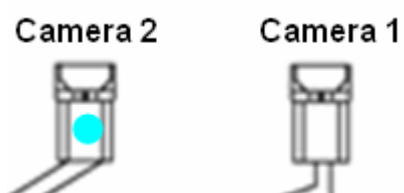
付属する本体取付用両面テープで、本体をしっかりと貼り付けてください。貼り付け時には以下の事項についてご注意ください。

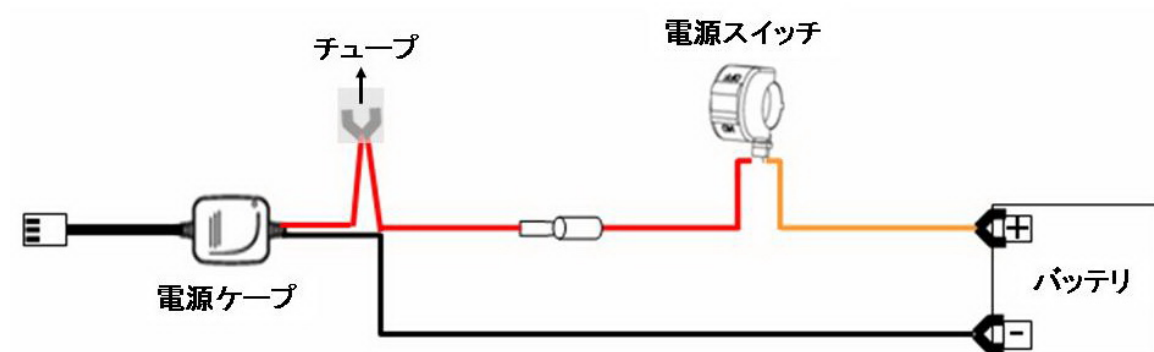
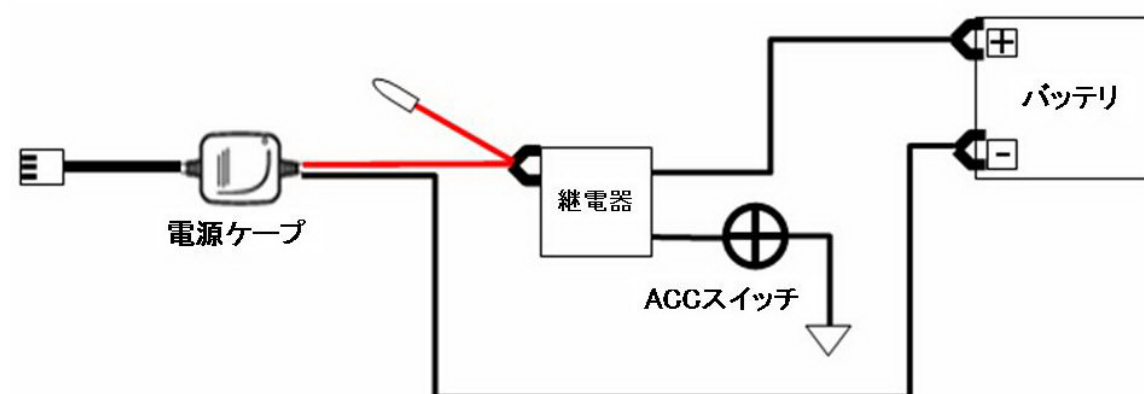
- 貼付面の汚れ（油分・水滴）をきれいにとってください。特に水滴は両面テープの性能を劣化させますのでご注意ください。
- 取り付け後、24 時間は引っ張るなど無理な力を加えず、自然放置してください。

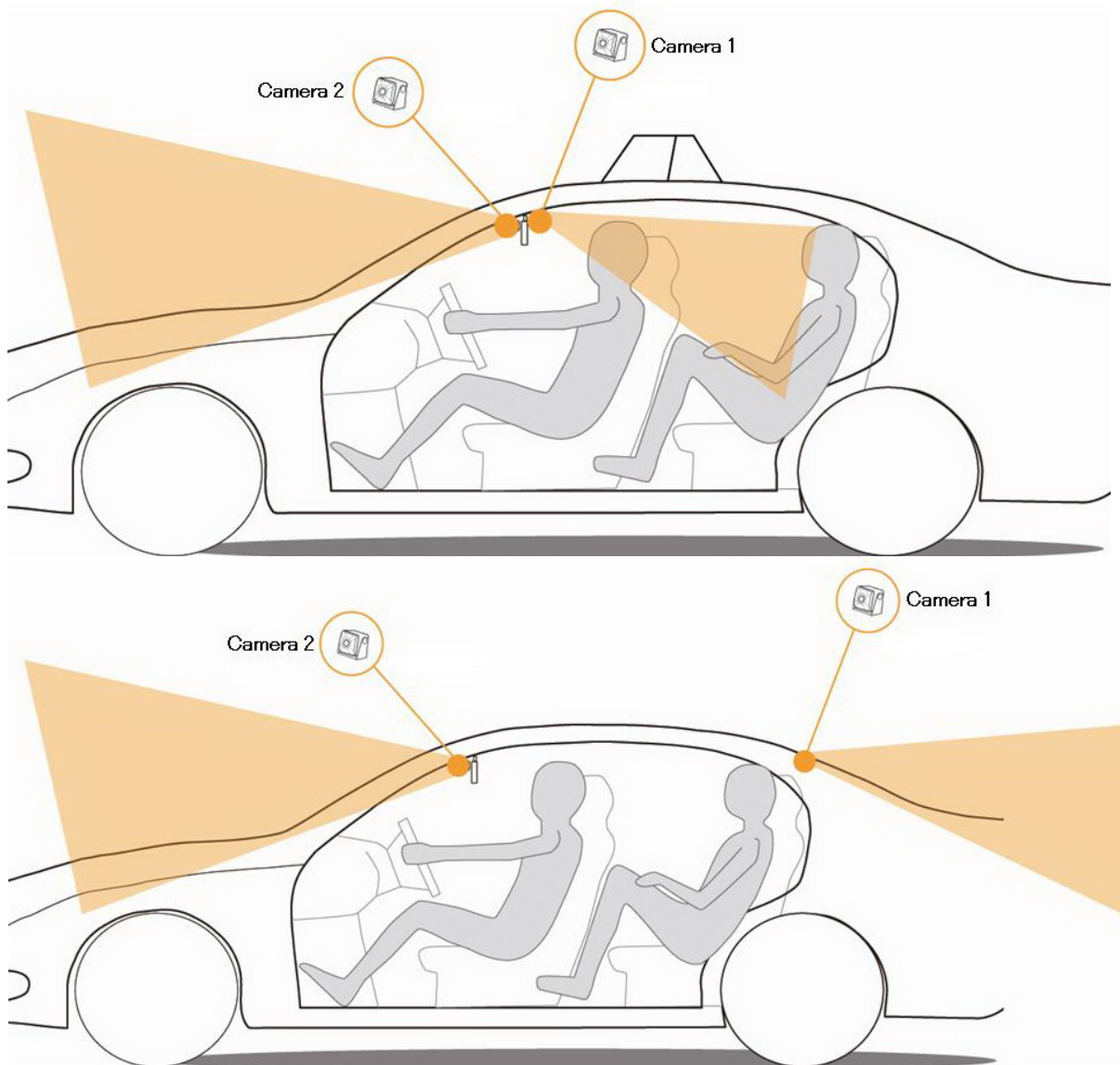
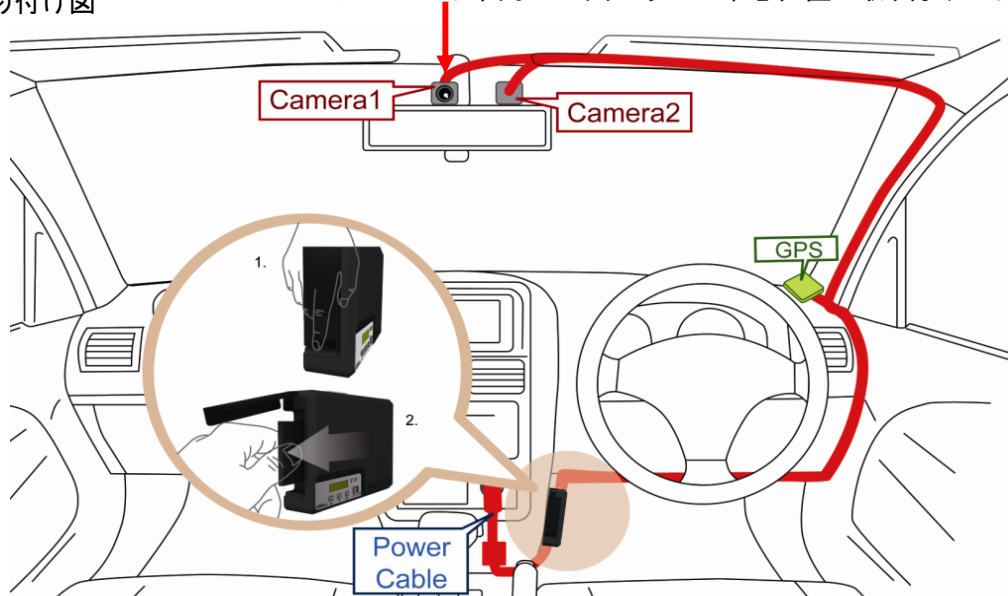
二輪用カメラモジュールの取付

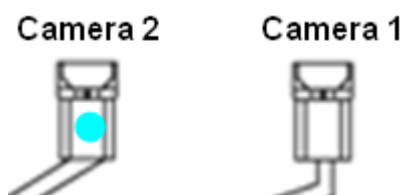
付属カメラモジュールの取付及び角度調整

付属カメラモジュールのお薦め取付け位置図

LED & MIC

二輪車で取付後撮った映像写真

※ モニターは左右影像で分けて、右側はバックカメラ影像、左側はフロントカメラ影像です。（青いテープカメラコネクターと接続してください。）

二輪車電源取り付け方法

1. 電源スイッチを使用して使用電源開闢連結於電瓶（バッテリー）

2. ACC（エンジン電源スイッチ）を使用して継電器を接続します（Relay）

自動車用カメラウモジュール取り付け位置

タクシー或は一般個人自動車（其の他レクリエーションナルビークル或はドラックは自分で適当な高さを調整します）。

自動車取付後撮った影像図

※ モニターは左右影像で分けて、右側はバックカメラ影像、左側はフロントカメラ影像です。（青いテープカメラコネクターと接続してください）。

※テスト録画※

「基本操作」を参考に本製品を約 1 分程度動作させ、画像を記録・閲覧し、次の事項をご確認ください。

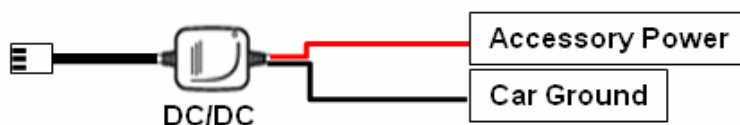
a） カメラの映像範囲

b） 日時設定

c） 音声記録

d） ファームウェアー及び周辺装置の検知データ

※車両ハーネスからの電源の取り方※

電源ケーブルを切断し、ケーブルの黒を車体アースへ、赤をアクセサリ電源へ接続してください。

⚠ 注　意：

- 接触不良や端子の逆接続に注意して下さい。
- 必ず DC-DC を経由してから車両のアクセサリ電源に接続して下さい。
- 工事はディーラー・整備工場などに依頼して下さい。その場合、別途工事費用が必要になります。

操作説明

I.　基本操作

① 起動

1.　CF カードを本体の CF カードスロットに差し込みます。
2.　エンジンをオンにすると、自動的に起動し、記録を開始します。

※ 注意：

- 初めてのご使用または三十日間以上起動しなかった場合は、必ず RTC 時間を設定（P. 16 参照）してください。
- 使用者が CF カードのデータを削除する場合、PC で削除してください。（本システムでは循環録画方式を用い、CF カードの容量がいっぱいになると一番古いデータから自動的に上書きします。使用者が別途手動で削除する必要がありません）
- 電源をオンにします、本体は｢ピーピーピー｣3回音と点燈警告するとき、CFカードは異常と示します。録画することができますが、資料を異常になる可能性があります。CFカードはフォーマットをしてください。

② ドライブレコーダーの停止

1.　エンジンをオフにします。
2.　バックアップ録画 LED（青の LED）が点滅し、安全な終了処理を開始します。（エンジンオフ後約5秒間で終了処理を行います。前3秒間は継続録画を行い、後2秒間はデータを保存します。）
3.　CF カードを取り出す場合は、バックアップ録画 LED が消灯したことを確認してから、CF カードを取り出してください。

※ 注意：

バックアップ録画 LED が消灯するまでは CF カードを抜かないで下さい。 データの破損や CF カード破損の原因となります。データ若しくは CF カードが破損した場合、必ず CF カードをフォーマットしてからお使いください。

③ 記録データの閲覧

初めて再生する場合、まず CF カード内にデフォルトした CEO Player 映像再生プログラム VLCPLAYER_SETUP.EXE をインストールしてください。

CF カードを本体から取り出してからパソコンで VLCPLAYER の CEO Player 映像再生プログラムを用いて映像を再生してください。

1.　CF カードをカードリーダーに挿入し、パソコンで確認してください。
2.　マイコンピュータで CF カード保存場所を選択します。
3.　閲覧したい映像ファイルをクリックすると、コンピュータが適切な CEO Player 再生ソフトを選択するよう要求しますので、この際 VLC を選択します。

※ 注意：

- 容量の大きな記録データはパソコンのハードディスクにデータを落としてから閲覧してください。
- 約 64Mの容量で1つのファイルが作成されます。
- 録音機能の ON/OFF スイッチは随時切替えることはできます。

④ 保存ファイルの形式及び内容

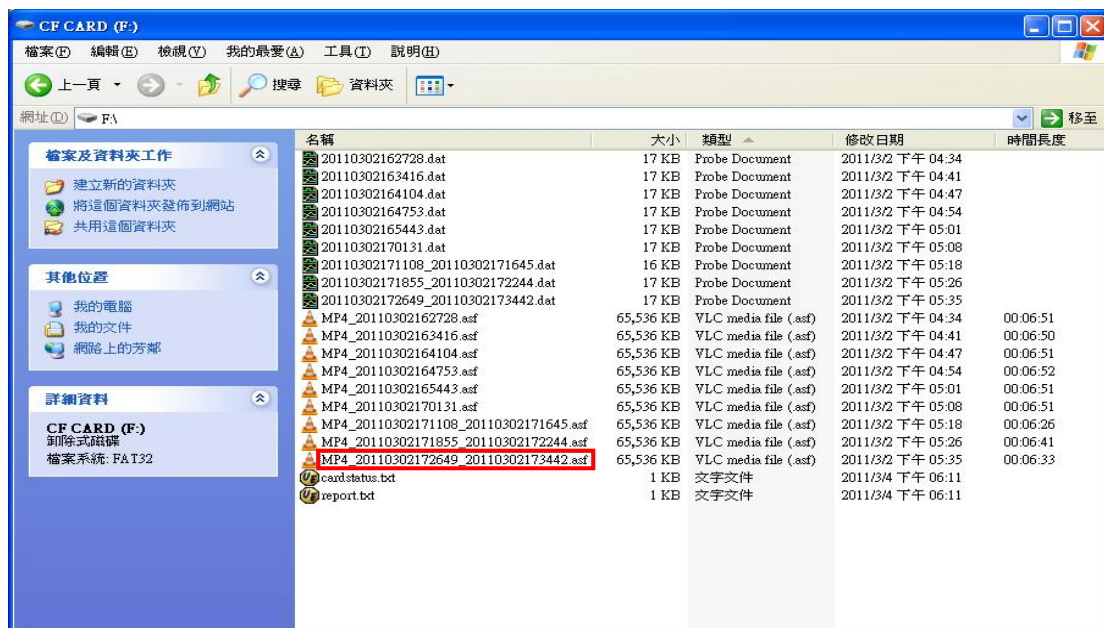
保存が終わり、CF カードを取出し、パソコンで閲覧すると下記のような 4 種類のファイルが確認できます。

a. report.txt（記録された本体の情報）

b. MP4_XXXXXXXXXXXXXX.asf（録画された映像データ）

c. cardstatur.txt（CF card 測定用）

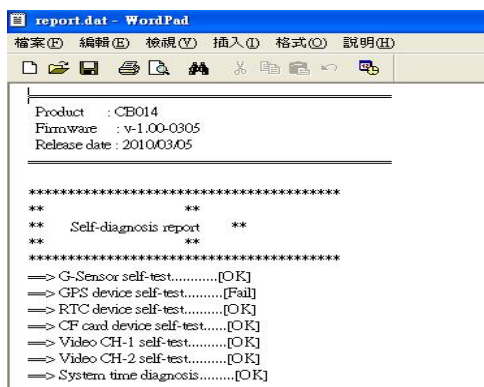
d. XXXXXXXXXXXXXX.dat（G Sensor & GPS データファイル）

e. 前のファイルは記録データは録画容量未満し、次録画を始まるとき、前のファイルは連続します、ファイルのの名前は書きの示しと通りです。

下図の report.txt データに記録した情報：

a. 機種名

b. ファームウェアーのバージョン

c. ファームウェアーの発行日期

d. 周辺部品

下図のXXXXXXXXXXXXXX.datデータに記録した報：

a. 2010年09月24日13時38分41秒

b. G-force：

x軸：0.306G、y軸：0.108G、z軸：-0.882G

c. GPS座標は下記です。

北緯 2448.5633、東経 12101.2361　車速：66km/hr

report.dat - WordPad

檔案(F) 編輯(E) 檢視(V) 插入(I) 格式(O) 說明(H)

```
Product    : CB014
Firmware   : v-1.00-0305
Release date : 2010/03/05

*******************************************
**                    **
**  Self-diagnosis report  **
**                    **
*******************************************
==> G-Sensor self-test............[OK]
==> GPS device self-test..........[Fail]
==> RTC device self-test..........[OK]
==> CF card device self-test......[OK]
==> Video CH-1 self-test..........[OK]
==> Video CH-2 self-test..........[OK]
==> System time diagnosis.........[OK]
```

0924133842.dat - WordPad

檔案(F) 編輯(E) 檢視(V) 插入(I) 格式(O) 說明(H)

```
2010/09/24 13:38:41 306 108 -882 N2448.5633:E12101.2361:66
2010/09/24 13:38:42 216 180 -1242 N2448.5633:E12101.2361:66
2010/09/24 13:38:43 306 -144 -1098 N2448.5713:E12101.2433:68
2010/09/24 13:38:44 180 -18 -972 N2448.5873:E12101.2579:68
2010/09/24 13:38:45 144 -36 -918 N2448.5953:E12101.2650:68
2010/09/24 13:38:46 36 -180 -1152 N2448.6033:E12101.2720:66
2010/09/24 13:38:47 0 -198 -1026 N2448.6112:E12101.2787:66
2010/09/24 13:38:48 324 -234 -900 N2448.6190:E12101.2854:64
2010/09/24 13:38:49 306 -72 -540 N2448.6267:E12101.2919:62
2010/09/24 13:38:50 198 -18 -1044 N2448.6415:E12101.3029:59
2010/09/24 13:38:51 108 -234 -900 N2448.6415:E12101.3029:59
2010/09/24 13:38:52 0 -90 -1152 N2448.6491:E12101.3075:57
2010/09/24 13:38:53 18 -234 -828 N2448.6568:E12101.3120:57
2010/09/24 13:38:54 0 -126 -1026 N2448.6644:E12101.3164:57
2010/09/24 13:38:55 162 -252 -1080 N2448.6718:E12101.3207:55
2010/09/24 13:38:56 90 -36 -1224 N2448.6791:E12101.3251:55
2010/09/24 13:38:57 54 -72 -972 N2448.6862:E12101.3301:57
2010/09/24 13:38:58 72 -72 -1152 N2448.7003:E12101.3393:53
2010/09/24 13:38:59 36 -36 -1044 N2448.7003:E12101.3393:53
2010/09/24 13:39:00 0 -108 -1044 N2448.7137:E12101.3481:51
2010/09/24 13:39:01 72 -342 -1026 N2448.7198:E12101.3523:49
2010/09/24 13:39:02 36 -306 -918 N2448.7198:E12101.3523:49
2010/09/24 13:39:03 -126 -342 -1062 N2448.7254:E12101.3562:46
```

MP4_XXXXXXXXXXXXXX.asf

映像データに走行時の情報が記録されます。

写真を例に上記の情報が記録されました。

日時は 2011 年 02 月 18 日 11 時 49 分 02 秒

スピードは 25km/h

日付、時間とそのときの速度が随時表示されます。

II. RTC（時計機能）の日付設定

本製品をはじめて稼動させる時、或いは外付け電源供給のない状況下で 30 日間（寒冷地の場合、RTC 電源の持続時間は10日に短縮する可能性あり）放置された場合、RTC の日付をリセットする必要があります。

1. 電源が投入されたら、自動的に日付設定モード（LCD パネルが点灯する）に切り替わります。
    （a）3 秒以内に SET ボタンを押して日付設定を確認します。
    （b）「年」が点滅しますので「Up、Down」ボタンで年を設定します。
    （c）「SET」ボタンを押すと年設定が終り「月」が点滅しますので、「Up、Down」ボタンで月を合せます。
    （d）「SET」ボタンを押すと月設定が終り「日」が点滅しますので、「Up、Down」ボタンで日を合せます。
    （e）「時」が点滅しますので「Up、Down」ボタンで時（時は 24 時間表示）を設定します。
    （f）「SET」ボタンを押すと時設定が終り「分」が点滅しますので、「Up、Down」ボタンで分を合せます。
2. 分を合わせた状態で“SET”ボタンを押すと日付設定が終了します。

日付設定の流れ

	SET ○	Down ○	Up ○	三つボタンの機能設定			設定手順
1		HH：MM （Default：00：00）		初めて稼動状態	→	SET （3秒以内に押す）	↓
2		YY （Default：2008）		（1）年の設定 Up ↑ Down ↓	→	SET（切り替え）	↓
3		MM （Default：01）		（2）月の設定 Up ↑ Down ↓	→	SET（切り替え）	↓
4		DD （Default：01）		（3）日の設定 Up ↑ Down ↓	→	SET（切り替え）	↓
5		HH （Default：00）		（4）時の設定 Up ↑ Down ↓	→	SET（切り替え）	↓
6		MM （Default：00）		（5）分の設定 Up ↑ Down ↓	→	SET（確定）	↓
7		HH：MM		設定終了			

運転前……

- LED が正常に点灯しているかを確認してください。
- 視界を邪魔していないことを確認してください。
- レコーダーの日時が正確かどうかを確認してください。

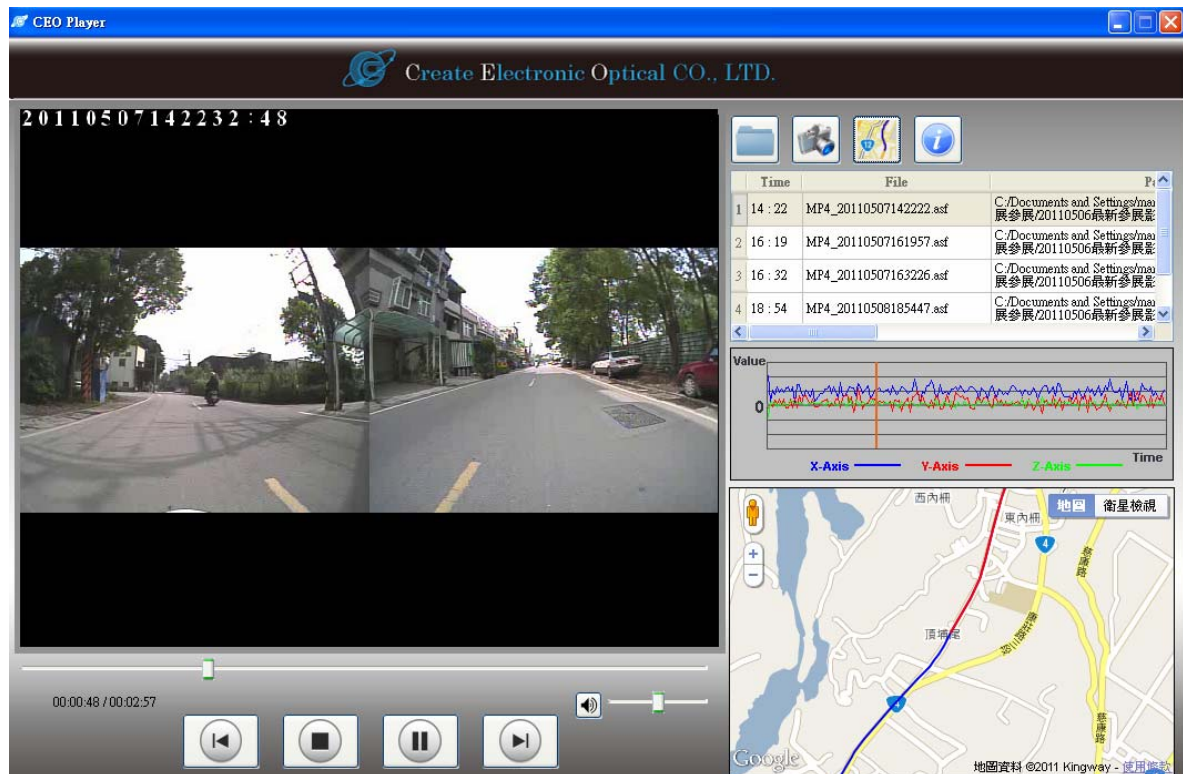
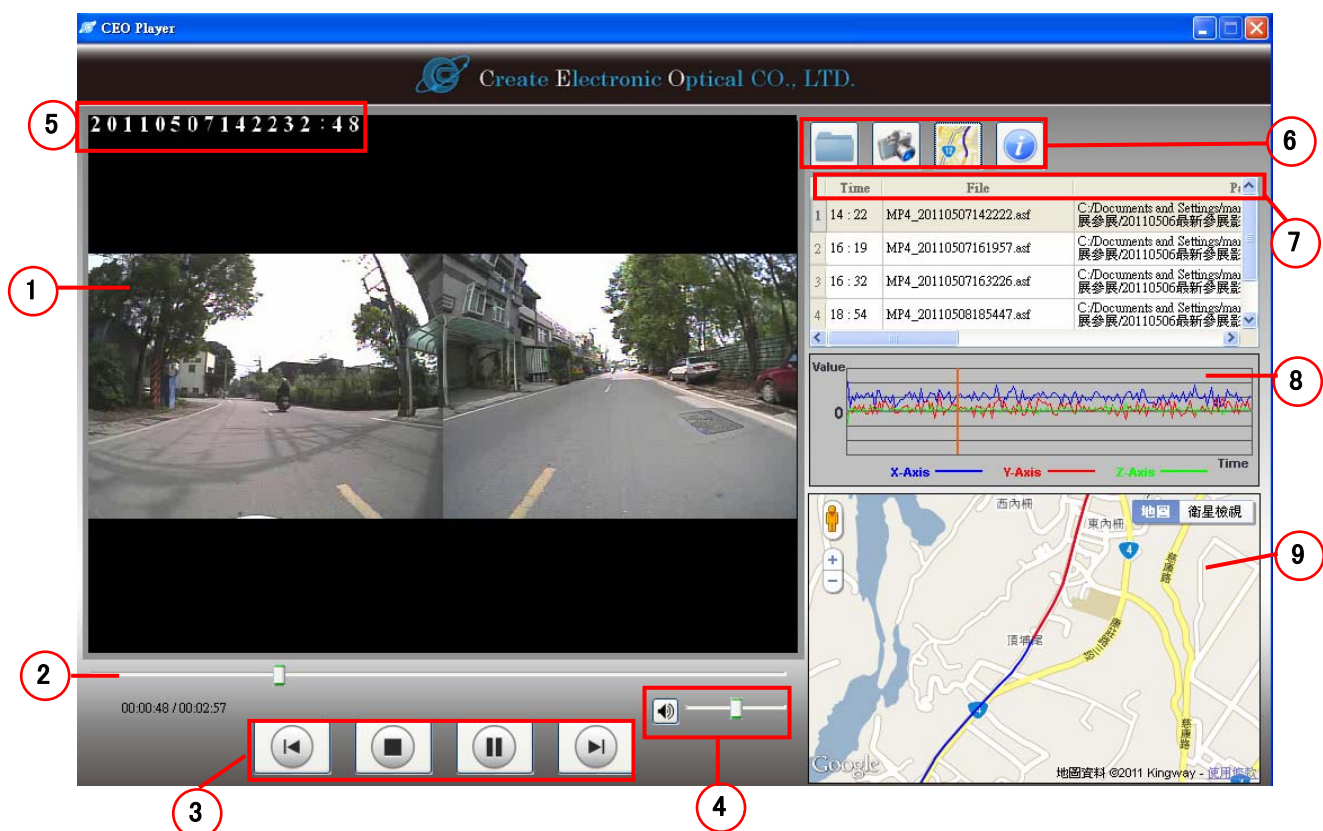
警告状態

起動/警告 LED(赤)	電源/録画 LED(青)	GPS警告 LED(黄)	アラーム状態	内容説明	備考
消灯	消灯	消灯	無	電源OFF	–
消灯	点灯	消灯	無	通常動作	–
消灯	点滅 （5秒間）	消灯	無	バックアップ電源の起動	ランプが完全に消灯したことを確認してからCFカードを取り出してください。
点灯	消灯	消灯	短音「ピ…」約1秒、全部17回	RTC リセット	起動しなおし、RTCを再設定してください。
点灯	消灯	消灯	長音「ピ…」約1.5秒、全部10回	CFカードに異常発生	CFカードが正しく差し込まれていない、或いはCFカードが壊れている
点灯	消灯	消灯	無	システムが稼動していない	再起動してください
点灯	消灯	消灯	「ピー」と15秒間アラームが鳴り続けます	付属カメラが無反応	分配ケーブルを確認或いは付属カメラを交換してください。
消灯	点灯	点灯	無	GPS信号なし	映像記録が継続中
消灯	点灯	点滅	無	GPS定位情報が取れていない	映像記録が継続中
点灯	点滅	点滅	「ビー、ピー、ピー」 3回	赤いランプ点燈していて、先に緑ランプは点滅してまた黄色ランプ点滅します。3回を繰り替える	影像記録が継続中、早めにフォーマットしてください。資料異常を発生可能性が恐れがあります。

ソフトの使い方

CEOplayer1.2.4 でドライブレコーダの映像を再生できる他，X、Y、Z三軸の加速度と走行軌跡を表示できます。（パソコンがネットに繋がれている環境が必要です）

必要なファイル：映像ファイル（.asf）、文字ファイル（.dat）

主な画面

操作ボタンの説明

映像再生エリア

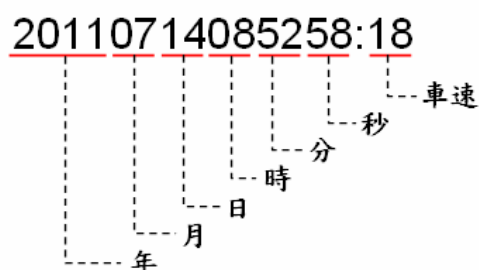
1. 時間軸：再生したい場所にスライドバーをドラックして閲覧出来ます。
2. 再生ボタンついて：

　前のファイルを再生します

　再生中止

　再生/一旦停止

　次のファイルを再生します

3. 音の調整：音の大小の調整が出来ます。
4. 日付/時間/スピード：20110714085258:18

5. アイコンについて：

　ファイルをオープンする（Ctrl+a でディレクトリ全部のファイルが選べます）

　映像コピー:コピーされた映像はディレクトリ(CF カード内のフォルダ)に保存されます。
命名方式：再生ファイル名称_mmss.png, mmss はファイルの再生秒数

　走行軌跡：青い線は全ルート、赤い線は経過ルートです

　ソフト情報：ソフトのバージョン情報

6. ファイル再生一覧表：記録の時間、ファイルの名前、ファイルのルートを示します。
7. 三軸曲線図：X、Y、Z 軸の加速度
8. GoogleMap:この機能は Googlemap が提供するサービスなので、インターネットがある環境が必要です。

※ Google Map はインターネットが使える環境で利用できます。

よくある質問

1. Q：本体の取り付けに失敗しました。貼りなおして使用しても良いですか？
   A：一度貼り付けた両面テープは粘着力が弱くなります。再貼り付けはしないでください。指定の両面テープを新しくご購入ください。

2. Q：本体はどこに取り付けても良いですか？
   A：本体は運転者の視界の妨げ、運転の妨げにならないように取り付けてください。（国土交通省の保安基準により規定されている場所で装置してください）

3. Q：車両の電源を入れても LED が点灯しないのですが？
   A：本体に電源が供給されていない可能性がありますので、電源ケーブルの接続を確認してください。また、配線の接触不良が考えられますので、接続状態を確認してください。

4. Q：トランシーバー、無線等がうまく入らないのですが？
   A：本製品が他装置と干渉している可能性があります。本体と他の装置の受信機等はなるべく離して設置下さい。

5. Q：正常に動作しているか確認するにはどうしたらよいのですか？
   A：電源を入れて、1 分ほど映像を記録してください。その後、パソコンで記録映像を確認してください。もしくは、本体にある AV OUT 出力を用いてモニター（別売り市販品）で確認下さい。

6. Q：音声を録音したくないのですが？
   A：本体の録音機能切り替えスイッチで録音機能をオフにしてください。録画中にスイッチを切り替えた場合は、即時に設定が反映されます。

7. Q：データを自分で消す事は出来ますか？
   A：パソコンから CF カード内の映像ファイルを削除することでデータを削除することが出来ます。また、CF カード内の全ての映像を削除する場合は、PC で CF カードをフォーマットしてください。

8. Q：事故の衝撃でバッテリーが外れても記録できますか？
   A：本体にバックアップ電源を持っています。車両からの電源供給が途切れた場合は、電源が切断してから 3 秒後に本体の電源が自動で切れます。事故等のトラブルに至った直前までの画像データが保存されます。

9. Q：エンジンを切っても電源が切れないのですが？
   A：車両のアクセサリー電源（エンジン OFF 後、電流が流れない）の状態を確認してください。配線されている状況が直接車両のバッテリーから電源が供給されている場合があります。その場合は、再度、配線の見直しをするか、ディーラー・整備工場等でご相談下さい。また車両電源が切断された時、本製品は 5 秒間の安全停止処理を行い、青 LED が点滅します。その間は CF カードを取り出さないでください。

10. Q：専用の CF カードが故障したのですがどうしたらよいですか？

A：専用 CF カードのご購入をお願い致します。市販の CF カードをご購入されても、正常に動作しないことがあります。ご注意ください。

11. Q：事故でニリドラ本体が壊れた場合、修理はしてもらえますか？

A：事故などで強い衝撃を受けて壊れた場合は、部品故障の発生が懸念され、修理の品質保証が出来かねますので無償修理をお受けする事はできません。別途御見積を含め修理対応をさせて頂きます。

12. Q：8GB の CF カードなのに、最大容量が使用されていません。

A：記録できる容量は CF カード最大容量の約 90%となります。最低でも 10%の保存予備容量としてキープするため、8GB まではご利用できません。

13. Q：映像品質（フレームレート、ビットレートなど）を変更したいのですが？

A：本製品の設定は固定されており、変更する事はできません。

14. Q：CF カードの容量が一杯になったら映像の記録は持続されますか？

A：保存データが使った容量（CF カード最大容量の90％）に達すると、順次古いファイルを上書きし、新しいファイルを作成していきます。

15. Q：CF カードに映像が記録できないのですが？

A：以下のケースなどで映像が記録されないことがあります。

1. 本体が作動していなかった場合
2. 本体に CF カードが挿入されていない場合や、備えられていなかった場合
3. 付属カメラが正しく取付けられていない場合
4. 大きな事故で、本体が破壊された場合
5. 記録中に CF カードが抜けてしまった場合
6. 本取扱説明書記載の通り正しく設置されていなかった場合
7. 配線等がシート等で挟まれてしまっている場合

16. Q：映像がぼけて見えるのですが…

A：レンズ表面に付着した油汚れ等で、映像がぼけて取得される可能性がありますので、カメラのレンズを綿棒等（柔らかい素材）で優しく念入りに拭いてください。また、雨天時は雨粒がレンズに付着してピンボケして見えることがあります。

17. Q：本製品が固まる（フリーズしたら）どうすればよいですか？

A：電源が切断されて 5 秒間経っても、青 LED はずっと点滅している状況は本製品が固まった状態になった証拠です。この場合は、CF カードカバーを開け、中にある小さい丸穴を使ってリセットしてください。針など細い棒をその小さい丸穴に挿し込んで強制にリセットすることができます。その際、念のため CF カードも必要なデータは PC 等にバックアップして、CF カード自体をフォーマットして下さい。

18. Q：本製品の LED が赤点灯したままの状態のとき、どうすれば良いのですか？

A：一度電源を OFF にして、LED が完全に消灯してから再度電源を ON にしてください。何度となくこのようなエラーが続いた場合は、一度電源 OFF 後に CF カードを抜いて、CF カードをフォーマットするか、もしくは新しい CF カードに換えてから同様に電源を ON にして LED の状況を確認下さい。万一、この一連の作業を行って LED が赤点灯したままの場合は、配線が断線している可能性があるので、お手数ですが配線の確認をお願いします。

19. Q：AP 再生ソフトに関する問題

ソフトが使えない時、Microsoft サイトで .net Framework 3.5 以上バージョンをダウンロードしてください。

20. Q：GPS を取り付ける時の注意事項

A： 遮らない場所でGPSを取り付けてください。例え: フロントウインドーの下、或は二輪車車体の外の場所です。車内の小物入れ或は車体の下で遮り易いような場所を置いてないでください。電波を届けないかもしれないです。※トンネルの中で電波が届くことが出来ません。

21. Q : CF カードの使用注意事項:

A: CFカードは本体に差し込む時、順調な差し込まれないなら、乱暴な差し込まないでください。損壊 の原因となります。端子を破損しないために、もう一度差し込む角度を調整して、差し込み直してください。

22. Q : CF カードとコネクタの使用注意事項:

A:コネクタを乱暴な取らないでください。接触不良の原因となります。また、功能性問題を出るかもしれません。

ニリドラ製品仕様

1. 製品仕様/Application Specifications		
1.1	画像形式/Video Standard	MPEG4
1.2	保存媒体/Recording Medium	CF Card
1.3	記録容量/Recording Capacity	8G～32G
1.4	入力画像/Video Input	2 チャネル CMOS カメラモジュール
1.5	解像度/Recording Resolution	720H＊480V
1.6	フレームレート/Recording Rate	20 fps 以上（各チャネル）
1.7	記録方式/Recording Mode	常時録画
1.8	音声入力/Audio Input	切り替えスイッチ
1.9	バックアップ電源記録時間 /Power Disconnection Backup	3 秒
1.10	G センサー/G-sensor	Yes
1.11	時間表示/Real Time Clock	Yes
2. 電気特性/Electrical Characteristics：		
2.1	入力電圧/Input voltage	12V～24V
2.2	消耗電力/Power consumption	520mA@12V
3. 外形寸法/Mechanical		
3.1	寸法/Dimensions	120mm＊85mm＊26mm
3.2	重量/Weight	230g
3.3	構成/Construction	Housing：Polycarbonate Panel Window：Acrylic

ニリドラ製品仕様

アクセサリー/Accessories

接続ケーブル/Connect Cable	Cable for power adaptor, camera and GPS、MIC、TV OUT,LED Set
アダプター/Adaptor	DC 12 to 36 voltage conversion to 6 voltage
GPS	Yes
保存媒体/Storage	8～32G CF カード

※ 本製品の仕様は、改善等のため予告なく変更する場合があります。

お問合せ

商品に関するお問合せ

アフターサービスについて

商品のアフターサービスに関するお問合せは、お求めの販売店または、「お客様相談窓口」へ
修理のご依頼は、お求めの販売店へお願い致します。

代理店名

保証書

この製品は厳密な検査に合格してお届けしたものです。
お客様の正常なご使用状態で万一故障した場合は、お買い上げ日より1年間、下記の条件のもとにおいて修理を致します。

- 修理は必ずこの保証書を添えてご依頼ください。
- お買い上げ日、販売店名の記載のない保証書は無効となります。
- この保証書は再発行致しませんので大切に保管してください。

品名・型式　　ニリドラ（DRA-014）

お買い上げ日　　年　　月　　日

取扱い販売店名

シリアル No.

お客様	ふりがな お名前
	〒 ご住所 TEL